

3 未来維新プラン関連事業

※下線の事業は、「4 主な事業の概要」に記載

I 産業維新

①新たな価値を創造する産業DXプロジェクト

重点施策1 産業におけるデジタル化の加速

◆ 建設DX総合推進事業 (189,697千円) P.12

②未来へ挑戦するグリーン成長プロジェクト

重点施策4 2050年カーボンニュートラルへの挑戦

◆ 公共事業 21,000千円

他の施策分野の再掲分を含む (21,000千円)

カーボンニュートラルポート(CNP)の形成に向け、官民の連携による港湾における脱炭素化の取組を定める港湾脱炭素化推進計画の策定を推進

《主要箇所》

〔港湾〕・宇部港、小野田港：港湾脱炭素化推進計画策定

③時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト

重点施策9 強みを伸ばす産業基盤の整備

◆ 下関・北浦海域沖合人工島建設事業費 35,983千円

国際物流機能の強化やクルーズ船の誘致を促進するため、下関市が実施する下関・北浦海域沖合人工島の整備を支援

◆ 港湾施設使用料等の減免 —

県内港湾を利用する外貨定期コンテナ船及び国際フィーダー航路を利用するコンテナ船に対し、港湾施設使用料等の減免を実施

◆ 高速交通道路網調査費 9,000千円 P.17

高規格道路等の今後の整備方針等を検討するため、必要な調査を実施

◆ 山陰道整備促進事業 5,500千円 P.17

山陰道の早期整備に向け、国と連携して必要な調査を実施

◆ 公共事業

9,991,238 千円

他の施策分野の再掲分を含む (27,122,898 千円)

瀬戸内沿岸の企業群を中心とした基幹産業のコスト競争力強化や生産性向上を図るため、企業の国際競争力強化に資する港湾の機能強化や、迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網の整備等を推進

《主要箇所》

- | | |
|-------|--|
| 〔道 路〕 | ・山陰道（俵山・豊田道路）：バイパス整備
・小郡萩道路（絵堂萩道路）：バイパス整備（一部現道活用）
・国道2号（岩国・大竹道路）：バイパス整備
・国道188号（藤生長野バイパス）：バイパス整備
・国道2号（富海拡幅）：現道拡幅
・国道491号（清末～小月）：バイパス整備 |
| 〔港 湾〕 | 〈国際バルク戦略港湾〉
・徳山下松港（下松地区）：栈橋整備
・徳山下松港（徳山地区、新南陽地区）：航路・泊地浚渫、岸壁延伸
〈その他重要港湾等〉
・岩国港（装束～室の木地区）：臨港道路整備 |
| 〔街 路〕 | ・環状一号線（新田）：現道拡幅 |

④中堅・中小企業の「底力」発揮プロジェクト

重点施策15 持続可能な建設産業の構築

◆ 建設産業活性化推進事業

18,652 千円 P.16

建設産業が将来にわたり、地域のインフラ整備や災害時の応急復旧等、県民の安全・安心を担う力を維持・活性化していくため、産学公の連携により「担い手の確保・育成」を推進

新 建設産業就労環境改善支援事業

13,985 千円 P.15

建設産業に特化した新たな働き方の取組推進により、担い手の確保及び若年者の離職防止を図り、持続可能な建設産業を構築

◆ 建設DX総合推進事業

189,697 千円 P.12

建設産業におけるDXを推進することにより、建設産業の生産性向上及びデータ利活用環境の実現

Ⅱ 大交流維新

⑥交流拡大による活力創出プロジェクト

重点施策21 山口きらら博記念公園を拠点とした県民の活力の創出・発信

◆ 山口きらら博記念公園交流拠点化事業 62,452 千円 P.11

◆ 山口きらら博記念公園交流拠点化事業【公共】 1,176,711 千円 P.11

子どもから大人まで幅広い世代が集い、伸び伸びと活動する中で山口の豊かさや住みよさを実感できる「交流拠点」、県外の人に山口の魅力を感じ訪れてもらう「集客拠点」とし、元気と活力を創出する拠点として公園を再整備するとともに公園の利用を促進

重点施策23 広域的な交通インフラの整備

◆ 高速交通道路網調査費 (9,000 千円) P.17

◆ 山陰道整備促進事業 (5,500 千円) P.17

◆ 公共事業 472,192 千円

他の施策分野の再掲分を含む (22,506,153 千円)

人やモノの流れの拡大を支えるため、空港や新幹線駅等の広域交通拠点と観光地、観光地相互の移動時間の短縮や、周遊ルートの形成に資する幹線道路の整備等を推進

《主要箇所》

〔道路〕・県道岩国錦帯橋空港線（旭町）：現道拡幅
〔街路〕・長府綾羅木線（田倉～勝谷）：バイパス整備

Ⅲ 生活維新

⑬豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進プロジェクト

重点施策45 快適で住みやすい生活環境づくりの推進

◆ 空き家利活用等推進事業 5,458 千円 P.18

空き家適正管理・利活用の推進、空き家の発生抑制、県全域の相談体制の充実、市町の取組への支援

◆ 山口きらら博記念公園交流拠点化事業 (62,452 千円) P.11

◆ 山口きらら博記念公園交流拠点化事業【公共】 (1,176,711 千円) P.11

◆ 公共事業

1,342,033 千円

他の施策分野の再掲分を含む (13,452,872 千円)

身近な生活環境の快適さ、暮らしやすさを一層高め、誰もが実感できるように、下水道や県営住宅の整備や、各都市間の広域的な交流・連携や、日常生活の利便性・安全性の向上に資する道路、通学路等の歩道の整備等を推進

《主要箇所》

- | | |
|-------|--|
| 〔道 路〕 | ・ 県道東浦西浦線（黒鼻～赤崎）：現道拡幅
・ 県道長門秋芳線（大河内）：バイパス整備 |
| 〔街 路〕 | ・ 泉町平川線（湯田温泉～平井）：自転車歩行者道整備
・ 新開作二軒屋線（小野田～平成町）：自転車歩行者道整備 |
| 〔下 水〕 | ・ 過疎地域下水道代行（久賀・大島）：下水道整備 |
| 〔住 宅〕 | ・ 桜県営住宅（仮称）（山陽小野田）：県営住宅建設 |

⑱ 災害に強い県づくり推進プロジェクト

重点施策62 防災・危機管理対策の強化

◆ 河川整備基本方針調査事業

30,219 千円

河川整備の基本となるべき方針を定める河川整備基本方針や、具体的な河川整備の内容を定める河川整備計画の策定等を行い、河川整備の効果的な実施を促進

◆ 緊急浚渫推進事業

592,220 千円 P.19

近年相次ぎ発生している大規模自然災害を踏まえ、治水対策の強化に向けた河川等の浚渫を集中的に実施し、防災・減災対策を推進

◆ 土砂災害対策総合支援事業

3,820 千円

がけ地の崩壊等から県民を守るため、市町と協力し、土砂災害特別警戒区域等の危険が著しい区域に存する住宅の移転等や建築物の改修等を促進

◆ 民間建築物耐震改修等推進事業

29,176 千円 P.20

地震による民間建築物の倒壊被害から県民を守るため、市町と協力し、不特定多数の者が利用する大規模建築物等の耐震診断・補強設計・耐震改修費用や危険なブロック塀等の建替え・除却費用に対して補助を行い、耐震化を推進

◆ 高速交通道路網調査費

(9,000 千円) P.17

◆ 山陰道整備促進事業

(5,500 千円) P.17

◆ 公共事業

16,258,652 千円

他の施策分野の再掲分を含む (36,220,739 千円)

大規模な自然災害等の発生に備え、道路・橋りょうの防災対策、河川改修やダム建設等の洪水対策、土砂災害防止施設の整備、橋りょうや岸壁等の耐震化等を行うことにより、災害に強い県づくりを推進

《主要箇所》

- | | |
|--------|---|
| 〔道 路〕 | ・山陰道（木与防災）：バイパス整備
・国道191号（豊北）：法面对策
・国道262号（明木）：耐震補強
・国道489号（野谷）：現道拡幅
・県道白木漁港佐連線（沖家室大橋）：耐震補強 |
| 〔河 川〕 | ・厚狭川、島田川、土穂石川、阿武川：河川改修 |
| 〔総合開発〕 | ・大河内川ダム：付替道路工事 |
| 〔砂 防〕 | ・新造谷川：土石流対策
・須川地区：地すべり対策 |

重点施策63 日本一の安心インフラやまぐちの実現

◆ 建設DX総合推進事業

(189,697 千円) P.12

◆ 公共事業

13,336,526 千円

他の施策分野の再掲分を含む (14,663,967 千円)

持続可能なインフラ管理の実現に向け、個別施設計画に基づく各施設の修繕・更新等の老朽化対策を着実に推進するとともに、インフラメンテナンスの高度化・効率化を推進

《主要箇所》

- | | |
|-------|--------------------|
| 〔道 路〕 | ・国道437号（大島大橋）：長寿命化 |
| 〔港 湾〕 | ・小野田港（東沖地区）：泊地浚渫 |
| 〔住 宅〕 | ・くし山県営住宅（山陽小野田）：建替 |

⑱暮らしの安心・安全確保プロジェクト

重点施策67 交通事故から県民を守る対策の推進

◆ 公共事業

1,240,550 千円

他の施策分野の再掲分を含む (12,745,396 千円)

交通事故等から県民を守るため、通学路等の歩道の整備や交差点の改良、踏切道の事故防止対策、歩行空間のバリアフリー化等を推進

《主要箇所》

- | | |
|-------|---|
| 〔道 路〕 | ・国道2号（印内地区交差点改良）：交差点改良
・県道光日積線（岩田）：自転車歩行者道整備
・県道新南陽津和野線（下上）：自転車歩行者道整備
・県道小郡三隅線（小郡上郷）：踏切道改良 |
|-------|---|

⑳人口減少を克服する地域づくり推進プロジェクト

重点施策70 快適でにぎわいのあるまちづくりの推進

◆ 持続可能なまちづくり集中支援事業

13,500 千円 P.21

持続可能なまちづくりに積極的に取り組む市町の施策を集中的に支援するとともに、防災の観点を取り入れるなど質の高い立地適正化計画策定の取組を推進